

理事会議事録

平成 23 年 6 月 24 日（土）

平成 23 年度 第 2 回理事会

開催日時：平成 23 年 6 月 24 日（土） 15：00～17：00

開催場所：秋田県臨床検査技師会事務所

秋田市南通築地 1-1 ファーストワン築地 2A

理事数：25 名

参加理事

佐藤寛、藤田秀文、遠藤正志、太田和子、高山洋子、佐藤尚之、久保田政昭、齋藤敦、熊谷優子、貝田奈津子、藤田郁子、佐藤慶子、菊地孝哉、奈良悦子、佐藤義暢、川上登、武石茂美、後藤利明、佐藤峯子、浅野美也子

欠席（○委任状提出者）

○小山田一、○武田亮、○清水盛也、○高橋稔、○渡部満則

参加理事 20 名、委任状提出理事 5 名、計 25 名で総理事の過半数を超えており、今回の理事会は成立した。

書記：武石茂美、後藤利明（県南地区担当）

議事録署名人：熊谷優子、高山洋子

議事内容：佐藤会長が議長となり、資料に沿って各担当者より内容の説明を受けながら審議された。審議内容及び決定事項は以下の通り。

議事 議長 佐藤寛会長

書記の選出

書記は、中央、県北、県南、由利の各地区順で行われており、今回は県南地区より武石茂美、後藤利明の 2 名が選出された。

議事録署名人の選出

熊谷優子、高山洋子の 2 名が選出された。

1) 経過報告

東日本大震災義援金について

52 施設より ¥367710 が集まった。各所に領収書を発行し送付した。

平成 23 年 6 月 18 日（土）に、秋田拠点センターアルヴェにて「あきたがんささえ愛の日」というイベントが開催された。秋田県技師会ではこのイベントに 4 名の会員が参加し、展示用ブースが設けられた。イベントの写真が理事らに回覧された。

秋田県臨床検査技師会新役員の挨拶状 153 通を関係各所に送付した。

2) 平成 23・24 年度役員体制について

〈平成 23・24 年度理事について〉

平成 23・24 年度の理事のメンバー 25 名の内、留任が 11 名、新役員が 14 名となっており、フレッシュな顔ぶれが出揃った。

〈理事の担当会務〉

組織図訂正事項

昨年度：総務部 → 今年度：庶務部（定款は庶務部であった）

學術部長 から 學術部理事 につながる線 → 削除

副会長 と 學術部理事 → 線で結ぶ

次回の理事会で修正したものを再提出したい。

〈支部長〉

県北：清水盛也理事、中央：久保田政昭理事、県南：武石茂美理事、由利：菊地孝哉理事

〈ホームページ担当〉

今現在は伊藤良子さんが担当しているが、今後は渡部満則さんに担当をして貰えないか打診することとなった。

〈会計〉

担当：齋藤敦理事。

ー齋藤敦理事より会計の支払いについてー

今後は申請書を提出して貰ってからの支払いとし、これをマニュアル化する方向で検討。

詳細については次回の理事会で提案したい。

〈文章管理〉

公印の運用は税理士に確認。後日報告とする。発行文書は年度末に提出してもらい事務局にて保管。

3) 平成 23 年度の活動計画について

①第 35 回秋田県医学検査学会

武石茂美理事より

公開講演 1 に予定していた DMAT（災害派遣医療チーム）の件で。講師として予定していた平鹿総合病院・岩間直先生が、当日別の研修会と重複してしまったため、講演がキャンセルとなった。代替案として、東北電力より「節電とエコについて」の講演を依頼することとなった。公開講演 2 は秋田地方気象台より「地震と防災について」の講演を予定。シンポジウムは「東日本大震災を経験して」と題して、各病院・メーカー・卸業者らの被害状況と、当日及び震災後の対応についてアンケート調査を実施。集計結果を発表の予定。学会の要項集原案およびアンケート用紙原案を理事らに配布した。

②東臨技生理機能検査部門研修会

開催期間：平成 23 年 7 月 9 日～10 日

場所：秋田市 秋田保健センター

当日は秋田県農村医学会学術大会（厚生連）と日程が重複。（太田副会長）大きなイベントと重複しないような配慮を技師会として働きかけても良いのではないかと。

③秋臨技だより No85

庶務部で対応いただきたい。例年は春と秋に発行していたが、今年度は時間の都合上、夏と秋に発行する予定で検討したい。

④生涯教育研修会

藤田秀文副会長の下で対応。

⑤福利厚生事業

雄物川舟下りを一案として提案。往復 2～2.5 時間。予算は 1 人当たり 3000 円、5 人～50 人まで可能。開催期日は未定。

⑥新公益法人移行

技師会の予算は 100 万円。吉川税理士事務所では移行費用の見積額が 65 万円であったが、技師会の会計処理込みならば 40 万円が良いとの連絡を受けた。今現在県技師会の会計処理は新屋の船木税理士事務所に依頼しているが、もし吉川事務所に依頼するならば船木事務所の方を断らなければならない。理事らによる審議の結果、事務所の選定は佐藤会長一任とし、吉川税理士事務所に本件を依頼することとなった。

⑦60周年記念事業

日程について案が出された。最終的には11月12日と12月3日の二案となった。理事らによる採決の結果、第25回健康と臨床検査展（会場：秋田拠点センターアルヴェ）前日の11月12日第一候補とすることとした。会場の選定は事務局一任とした。

⑧ピンクリボンキャンペーン

開催期間：平成23年9月19日（月）

場所：秋田市 秋田拠点センターアルヴェ

今回が初めての参加。ピンクリボンキャンペーン事務局へ、当日のキャンペーン参加の旨を連絡した。詳細については未定。

⑨精度保障事業

未定

⑩各支部から

〈県北〉川上理事より

来年度の秋田県医学検査学会は県北が担当。場所は大館市のプラザ杉の子にて開催の予定。また秋には支部内研修会の予定。

〈中央〉久保田理事より

昨年度の引き継ぎが未だ行われていない。

〈由利〉菊地理事より

6月2日に幹事会を行った。今年9月と来年2月に支部の研修会開催の予定。7月にはビアパーティー開催の予定。

〈県南〉武石理事より

秋の秋田県医学検査学会の準備を進めている。

4) 東日本大震災復興支援について

平成23年5月29日、仙台にて東北臨床検査技師会会長会議が行われた。会議の中で、先日の東日本大震災の被災者に対する検診を7月と8月に実施したいとの連絡を受けた。その際の人員として、秋田県技師会に検査技師2〜3名を派遣して欲しいとの要請を受けた。場所は宮城県内のいずれかで、日帰りの予定。（理事らは傷害保険に加入しているので）派遣者は理事の内の誰かとしてほしい。詳細は後日連絡。

5) その他

〈日本臨床検査技師連盟〉

平成23年の秋田県の連盟加入者は8名。加入者が増えれば良いのだが。以前届いていた新

聞が最近では来なくなった。この件は後日確認とする。

〈秋田県技師会事務所について〉

最近では、スペースが手狭になっている上、周辺の駐車場代も割高。もっと他に良い物件があれば紹介して欲しい。

〈支部助成金 4 万円〉

申請用紙を会計に提出の事。

〈秋田県のコントロールサーベイ〉

県のサーベイは、今年も岩手県のプール血清を使用。入力方式は日臨技に習い、web 形式としたい。但し、ネットに繋がっていない施設にも配慮しなければならないので、良い方法を検討中。

〈60 周年記念事業について〉

実行委員会を作った方が良いかどうか、今後検討することとした。

以上

社団法人 秋田県臨床検査技師会

議事録署名人 熊谷 優子 ⑩

議事録署名人 高山 洋子 ⑩